

次代へ力強い第一歩

2020年新年交礼会に535人参加

100周年見据えより良い環境づくりを

北海道同友会は1月14日、2020年新年交礼会をロイトン札幌で開催しました。535人が参加して、次代へ踏み出す51年目の第一歩を彩る熱気あふれる交礼会となりました。

新春講演会では、吉村代表取締役社長の橋本久美子氏(東京同友会理事)が「同友会は経営者の宝島、社長が変わる、社員が変わる、企業が変わる、そして業界を変える」をテーマに講演しました。

同社は日本茶のパッケージを作る会社。お茶は急須で入れるものから、ペットボトルに急速に変わっていく中で、橋本氏は主婦から3代目社長に就任します。

企画・デザインから一貫生産する18億円

もの設備投資をした矢先、

3・11の福島原発事故が発

生。新茶から相次いでセシ

ウムが検出され、売り上げ

が止まりました。この苦境

に真正面から向き合い、社

会性・科学性・人間性の観

念を持った理念の重要性を

認識し、組織

は人ではなく

理念について

くると実感。

新春講演会の様子



熱弁する橋本氏

心理的安全性が高く、社員が責任を全うできる会社こそが相思相愛の組織だと話します。

と、参加者は耳をそばだてて講演に聞き入りました。そして、社員と共通言語で語り合う土台を作るのが大切と強調。過去に起きたクレームにユニークな名前を付けて社員と共有するなど、さまざまな仕掛けの一端を紹介する